

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会
地上デジタル放送方式高度化作業班（第11回） 議事概要（案）

1 日時

令和3年9月17日（金） 15:30～16:05

2 開催方法

WEB会議での開催

3 議題

- （1） 前回の議事概要の確認
- （2） 放送方式に関する調査事項案について
- （3） 作業班の調査スケジュール案について
- （4） その他

4 出席者（主任、主任代理を除き50音順、敬称略）

【構成員】 大槻主任、松田主任代理、伊藤構成員、岩尾構成員、岩田構成員、
上園構成員、大久保構成員、大野構成員、岡野構成員、岡村構成員、
奥村構成員、高田構成員、高柳構成員、樽見構成員、土田構成員、
豊嶋構成員、中井構成員、中原構成員、中丸構成員、中邨構成員、
中村構成員、沼尻構成員、深澤構成員、藤井構成員、藤高構成員、
森吉構成員、山口構成員、山本構成員

【事務局】 情報流通行政局 放送技術課

5 配付資料

資料デ高作11-1 地上デジタル放送方式高度化作業班（第10回）議事概要（案）
資料デ高作11-2 放送方式に関する調査事項（案）
資料デ高作11-3 作業班の調査スケジュール（案）

参考資料1 地上デジタル放送方式高度化作業班 構成員

参考資料2 地上デジタルテレビジョン方式の高度化の要求条件

6 議事概要

（1） 前回の議事概要の確認について

事務局より、前回の議事概要の確認について、資料デ高作11-1に基づき内容の確認が行われた。（質疑なし）

（2） 放送方式に関する調査事項案について

事務局より、放送方式に関する調査事項案について、資料デ高作11-2に基づき説明が行われ、以下の通り質疑応答が行われた。

(上園構成員) 2 ページ目の要求条件「チャンネル間隔」について、調査実証の中でどのように確認されるのか。また、4 ページ目の要求条件「干渉・混信妨害」に「フラッター妨害に対して」というのも、調査実証の中でどのように確認するのか教えていただきたい。

(事務局) 今回、要求条件に対する調査実証内容としていくつかをピックアップして記載しており、これまでに既の実施したものや、他の要素も踏まえて今後実証内容を検討していくものについては含まれていない。ご指摘の項目については、これまでの調査で一部実施しているものがあり、それらの調査結果も踏まえて対応したいと考えている。

(高柳構成員) JEITA のデジタル放送専門委員会委員長の立場として発言させていただく。昨年の第 7 回作業班で既存受信機での受信課題について報告している。8 ページ目の当面の調査実証内容(案)に「テストストリームによる既存受信機の受信確認実証」という記載があり、今回は、新しいテストストリームでの実施と認識しているところ、昨年度と同様に、JEITA においても既存受信機の影響の有無を確認させていただきたい。

(大槻主任) 私も、より多くの受信機で影響確認ができるよう JEITA 様にご協力いただいた方が良く考えるが、事務局は如何か。

(事務局) 是非、ご協力いただければありがたい。

(高柳構成員) 承知した。

(大槻主任) それでは、現行受信機の影響調査を協力して実施するようにお願いしたい。

(藤井構成員) 3 ページ目の実フィールド実証における伝送パラメータの所要 C/N を 22dB, 20dB, 16dB に設定して検証されるということであったが、ビット誤り率の観点から所要 C/N が定まってくることもあると考える。2 ページ目の要求条件「伝送品質」に「ビット誤り率を確保できること」という項目があるので、ビット誤り率の検証を含めていただく方が良く考えるが如何か。

(事務局) ご指摘の通り、ビット誤り率を測定した方がよいと認識している。3 ページ目の右図「固定受信における実フィールド実証の概要」に、ビット誤り率測定器があるように、ビット誤り率も併せて測定する形を考えている。

(3) 作業班の調査スケジュール案について

事務局より、作業班の調査スケジュール案について、資料デ高作 11-3 に基づき説明が行われた。(質疑なし)

(4) その他について

事務局より、次回の作業班は10月7日(木)の15時から開催する予定であり、開催案内等については別途ご連絡させていただく旨の連絡を行った。

(以上)